

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

## <申請者>

農事組合法人 金田一営農組合（岩手県二戸市）

経営概況（2026年4月時点）

経営規模：水稲24ha、大豆33ha

従業員数：9名

## <対象品目>

水稲

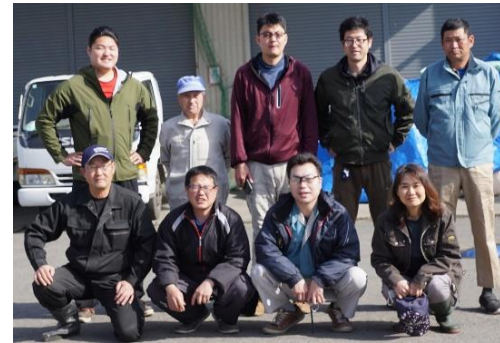
## <計画の実施期間>

5年間

## <活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

## <生産方式革新事業活動のイメージ 等>



金田一営農組合の皆様



栽培管理システム（KSAS）

## ～認定を受けて一言～

中山間エリアには省力化や負担軽減を見込めるスマート農業技術が必要です。得られる情報を分析し、地域内で共有することでより大きい効果が出ると期待しています。